

[久良岐能舞台]
 平成 23 年度業務報告及び収支決算
 [株式会社シグマコミュニケーションズ]

文中の事業欄において、：主催事業：共催事業 を示します。
 文中の達成指標欄において、：定量的指標：定性的指標 を示します。

1 施設の概要

施設名	久良岐能舞台
所在地	横浜市磯子区岡村 8 - 2 1 - 7
構造・規模	木造平屋建
敷地・延床面積	延べ床面積 341.66 m ²
開館日	昭和 62 年 10 月 6 日

2 指定管理者

法人名	株式会社シグマコミュニケーションズ
所在地	東京都品川区西五反田 7 丁目 19-1
代表者	代表取締役社長 西野好彦
設立年月日	昭和 62 年 4 月 1 日
指定期間	平成 23 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務総括

「独創的な事業運営を行い、久良岐能舞台の新たな施設価値を創造する」

第1期指定管理期間の成果を土台に「伝統芸能の愛好者と鑑賞者の育成的(生涯学習的)機能をもった施設運営」を第2期の基本的な運営ビジョンとし、その実現のため、多彩な自主事業と共に通年型の能楽講座を実施しました。

①自主事業では運営ビジョンに沿って通年型の能楽講座を3事業開始しました。高齢化の著しい能楽愛好者の若返りを図る目的をもって、喜多流と金春流の若手能楽師を講師に、また、囃子講座でも四種類の楽器それぞれに若手の囃子方を講師に依頼し、若い受講生の募集に成果を挙げました。能楽講座は 3 事業で合計104回実施し、全ての講座で目標を大幅に上回る受講者でにぎわいました。

また、能楽等の伝統芸能を通じた市民文化の振興及び活力あるまちづくりに寄与する事業として、市民が親しみと魅力を感じる事業企画実施しました。地域市民との協働事業「第5回久良岐まつり」では目標を大きく上回る参加者でにぎわいました。社会貢献事業として前年に引き続き「小学校向け狂言鑑賞教室」を実施、また、横浜市から受託したアウトリーチ活動を実施し、小中学校への伝統芸能の普及に寄与しました。自主事業全体として多くの参加者があり、その結果、事業収入は予算比 150%と大幅な増収を得ることができました。

②施設運営面では利用が増加し、施設稼働率が大きく増加しましたが、職員のシフト調整や本社支援などの努力により、職員の増員を図ることなく施設の提供業務を達成しました。

③施設管理では建築局により外壁改修工事が実施され、安全が確保されるとともに、施設の長寿命化が図られました。同時に、電気温水器が収納されているボイラー室を文化振興課に改修して頂き、ボイラーを屋外に移して倉庫面積としての利用が図られました。10月28日の台風により敷地内で倒木や落枝が相当数あり、また、あずまや等にも被害がありましたが、南部公園緑地事務所との連携により倒木や危険樹木の伐採等が行われ、公園として復旧されるとともに安全が確保されました。

4 事業に関する業務報告

(1) 久良岐能舞台所蔵の能装束等の公開展示

<p>[業務内容] ◆所蔵能装束を公開し、能楽等への関心や理解を深める [取組み] ●「所蔵能装束公開展示と能面作品展」 年度ごとに異なるテーマのもとで、所蔵能装束展示、能楽愛好者をモデルにした着付実演、モデルによる所作実演、能面作品展、講演会などを行ない、能楽に対する市民の関心と理解を深める機会を提供する。</p>	<p>[達成指標] ①□講演会参加者 70 名 ②□参加者アンケート回収率 50%以上 ③■参加者満足度 90%以上 ※「満足度」とは、アンケートにおける満足度5段階評価のうち、無回答を除く上位2段階(「大変良かった」及び「良かった」)の割合とする。(以下同じ)</p>	<p>[実施内容] 所蔵能装束の虫干しを兼ね、所蔵能装束の展示と解説講演を実施。 今年のテーマを「協能」とし、能装束製作者である堂本朋子氏監修のもと、所蔵能装束及び借用装束の展示、解説を行った。 能面は孤高の能面作家、高津紘一氏。作品 15 面の展示と講演を行った。 今回は司会者に明治大学准教授 伊藤真紀先生を依頼し、司会者と講演者が掛け合いで進める形式とした。 *能面作家 高津紘一氏は 11/2、お亡くなりになりました。久良岐能舞台での展示と講演が最後の仕事になりました。</p>	<p>[達成状況] ①□講演会参加者 結果:85 名 (販売枚数:80 枚) ②□参加者アンケート回収率 結果:45.9% ③■参加者満足度 結果:87.9% アンケート回収率は目標に届かなかったが、参加者達成率は 121.4%であり、全体として事業の目標を達成した。 多様な水準の参加者への対応が今回も完全であったとは言えなかった。</p>
---	---	---	---

(2) 能楽等に関する興味や関心を広げ、理解を深めるための事業の推進

<p>[業務内容] ◆能楽等に関する市民の関心や興味を広げ、理解を深める事業 [取組み] ●「小学校向け狂言鑑賞教室」 近隣区の小学校 6 年生を対象とし、学校単位で久良岐能舞台に招待して教科書に出ている狂言を鑑賞し、ワークショップで学ぶ。</p>	<p>[達成指標] ①□3 日間各 1 時間の鑑賞教室を 9 回実施 ②□参加校 12 校 1,000 名</p>	<p>[実施内容] 久良岐能舞台近隣 3 区(磯子区・南区・港南区)の小学校 6 年生を学校単位で招待し、教科書に出ている狂言「柿山伏」の鑑賞及び狂言ワークショップを教育支援事業として開催。 能舞台で狂言師による狂言を觀賞し、狂言ならではの所作や発声などを学習・体験した。 講師 善竹富太郎 善竹大二郎 前田侑太郎</p>	<p>[達成状況] ①□10 月 26～28 日 3 日間 10 回実施 ②□参加校 18 校 参加者 1,409 名 ③□職員アンケート回収率 結果 18 校:100% ■参加者満足度 結果:100% 弊社の社会貢献事業として全額弊社負担で実施。横浜市の施設として、地域に開かれた施設運営につなぐ役割を担っている。今回は東京横浜ドイツ学園の生徒達も参加した。</p>
<p>[取組み] 【新規】(受託) ○横浜市芸術文化教育プラットフォーム 「こどもを育てるアートのちから」 横浜市内小中学校を対象とし、アーティストを学校へ派遣し芸術鑑賞の機会を提供。 コーディネーターとして狂言師派遣と事業実施に協力。</p>	<p>[達成指標] ①□参加校3校以上</p>	<p>[実施内容] 久良岐能舞台から狂言師を市内小中学校へ派遣し、教科書に取り上げられている狂言「柿山伏」の芸術鑑賞及び狂言体験講座を開催。また小学校向けの伝統音楽の体験講座では 3 日間にわたり、能楽囃子講座をワークショップとして開催した。 横浜市芸術文化教育プラットフォーム主催「アートのちから」は、今回で 8 年目を迎え、横浜市内の様々</p>	<p>[達成状況] ①□久良岐能舞台担当分 狂言教室参加校 4 校 参加者 924 名 □伝統音楽教室参加校 1 校 参加者 126 名 アウトリーチ活動として久良岐能舞台担当の古典芸能(狂言教室)を実施し、学校単位で狂言を体験し、古典芸能の普及に繋がった。 伝統音楽のワークショップを実施し、能楽囃子のワークショップにより能楽の普及につなげた。</p>

		な芸術団体や施設運営団体が協力し、市内小中学校へ芸術普及事業を展開。当館はアーティストと学校の仲介役であるコーディネーターを担当し、今回で2度目の参加。 講師(狂言) 善竹富太郎 前田侑太郎 講師(能楽囃子) 栗林祐輔 森 貴史 大倉栄太郎 大川典良	□主催団体による横浜市内「アートのちから」プログラム ・平成 22 年度実施参加校 79校 久良岐担当学校名 南神大寺小学校 大鳥小学校 並木第一小学校 長津田第二小学校 戸塚小学校
[取組み] ●あなたが能舞台に立つ日 No.16 伝統芸能体験講座「能の謡を体験しよう」 通常の体験型ワークショップよりもさらに詳しい講座を開催することで能楽の普及振興に資する。7 月から開始する久良岐舞台能楽講座の導入事業として、囃子に興味のある参加者が稽古を習うことへと繋げる基盤作りとなることを目指す。	[達成指標] ①□事業参加者 60 名以上 ②■顧客満足度 90%以上	[実施内容] 能楽についての解説、能楽囃子のデモンストレーション、謡のワークショップ、装束付け実演解説、舞囃子鑑賞など、能楽全般にわたって分りやすく構成し、興味を喚起する。	[達成状況] ①□事業参加者 結果:75 名 ②■顧客満足度 結果:100% ③□アンケート回収率 結果:58.7% 7 月からの講座導入事業として、講座の講師も勤めるシテ方金春流の人気能楽師 山井綱雄を解説者、番組コーディネーターとした。囃子方も全て講座の講師を勤めるメンバーで構成した結果、結果的には講座受講申し込みの向上につながった。 アンケートにも良く分った、興味が持てたなどの意見が多く、多くの参加者の関心に応える結果となった。
[取組み] ●第4回久良岐狂言会 現在活躍中の狂言師から将来を嘱望されている若手狂言師を選び、シテ方を務めて貰う狂言会を開催。三番立ての狂言会。本格的な狂言を紹介し、笑いの伝統芸能の本質を味わってもらおう。	[達成指標] ①□事業参加者 90 名以上 ②■顧客満足度 90%以上	[実施内容] 平成 20 年度より開始し、今回で第4回目となる久良岐狂言会を実施。大蔵流山本東次郎家の狂言師達による狂言会。 今回は解説者に山本東次郎師を起用し、狂言の楽しみを聞く。	[達成状況] ①□事業参加者 結果: 153 名 (販売枚数:142 枚) ②■顧客満足度 結果:100% ③□アンケート回収率 結果:60.1% 久良岐狂言会を楽しみにされる参加者も多くなった今回、定員一杯の参加者で埋まった。山本東次郎師が久良岐開館 25 年目となる年を考えて、祝言調の番組を主体として組み立てられ、参加者も大変満足された。また、アンケートには東次郎師の話も大変興味深く受け取られ、満足度が高くなった。

<p>[取組み]</p> <p>●あなたが能舞台に立つ日 No.17 久良岐能舞台能楽入門講座 「チャレンジ謡曲入門講座 喜多流謡曲入門講座」 「チャレンジ謡曲入門講座 金春流謡曲入門講座」 「チャレンジ仕舞入門講座 喜多流仕舞入門講座」 「チャレンジ仕舞入門講座 金春流仕舞入門講座」 「チャレンジ囃子入門講座 笛・小鼓・大鼓・太鼓」</p> <p>能楽愛好者一般及び久良岐能舞台を利用する能楽愛好者の高齢化による施設利用の低下傾向を受け、愛好者の若返りを図り、施設の活性化を増進する目的をもって、シテ方二流及び囃子方の入門講座を始める。 全国的にも例を見ない「通年型」の講座とし、水準の高い初級の愛好者を早期に育成する方針で運営する。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①□事業参加者 30名以上 ②■顧客満足度 90%以上</p>	<p>[実施内容]</p> <p>(1)謡曲入門講座及び仕舞入門講座においては、能楽五流のうち、久良岐能舞台での愛好者利用層が比較的薄い喜多流及び金春流の二流から開催することとした。他の流儀については、施設の利用状況等の様子を見て今後検討する。 講座内容は愛好者の基礎として、今後稽古を続けるための基礎を作ること、能楽の鑑賞者として必要な知識を与えることを目標とする。 7月から開始し、10月の久良岐まつりでの発表までを入門講座とし、11月から翌年4月の発表会までを初級講座とする。また4月の発表会後は5月から1年間を中級講座とする。 それぞれの講座は1ヶ月に3回開催を基本とし、決まった曜日時刻に開催する。 (2)囃子入門講座については、10月の久良岐まつり発表会まで、受講者全員が全ての楽器を習い、能楽囃子についての基本的な知識を習得できるようにする。 そのため、10月発表会までは毎週の稽古とし、稽古の密度を上げることで短期間に知識を得られるようにする。 11月から翌年度の4月までは受講者別にいずれかの楽器を選択して受講する。楽器ごとに毎月2回の受講日とし、専門の講師から指導を受ける。 4月にはシテ方と共に合同で発表会を開催し、囃子方の入門講座は1年で終了する。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>①事業参加者 結果: 喜多流謡曲入門講座 開催回数 19回 受講者数 102名 金春流謡曲入門講座 開催回数 19回 受講者数 83名 喜多流仕舞入門講座 開催回数 19回 受講者数 87名 金春流仕舞入門講座 開催回数 19回 受講者数 167名 喜多流謡曲初級講座 開催回数 16回 受講者数 97名 金春流謡曲初級講座 開催回数 16回 受講者数 74名 喜多流仕舞初級講座 開催回数 16回 受講者数 96名 金春流仕舞初級講座 開催回数 16回 受講者数 156名 囃子入門講座 開催回数 14回 受講者数 298名 囃子入門講座・笛 開催回数 10回 受講者数 48名 囃子入門講座・小鼓 開催回数 10回 受講者数 64名 囃子入門講座・大鼓 開催回数 7回 受講者数 81名 囃子入門講座・太鼓 開催回数 8回 受講者数 45名 久良岐まつり発表会 開催回数 1回 参加者数 231名</p> <p>総開催回数 190回 総受講者数 1,398名 発表会参加者数 231名</p> <p>講座登録者数 謡曲 喜多流 12名 金春流 8名 仕舞 喜多流 10名 金春流 19名 囃子 32名 各講座共、達成指標は満たすことができた。</p>
---	--	--	--

<p>[取組み] 新規 「こども狂言育成事業」 「子供伝統芸能発表会」 ○能狂言を地域の文化として育てる目的をもって、地元の子ども達に狂言を練習して貰い、久良岐まつりで発表する。 子ども達が日頃習っている伝統芸能を久良岐まつりで発表する。</p>	<p>[達成指標] ①□事業参加者 120名 狂言を学ぶ地域の小学生 5名以上 ②■顧客満足度 90%以上</p>	<p>[実施内容] 「子ども狂言育成事業」 久良岐能舞台の地元の小学校4校に呼びかけ、希望する小学校高学年の児童に、久良岐能舞台で狂言師が稽古を行う。 稽古回数 7月から9月の間に合計8回。 発表は久良岐まつりで実施。 「子ども伝統芸能発表会」 地域で邦楽を教えている先生と協働して、久良岐まつりで子どもの邦楽演奏を発表する。</p>	<p>[達成状況] ①□参加児童数 8名 ②■事業参加者(発表会) 結果:170名 ③■顧客満足度 結果:89.8% ④□アンケート回収率 結果:34.1% 久良岐まつりの2日目の実施ということで、多くの参加者があった。 参加無料の事業だが顧客満足度はわずかに及ばず。</p>
---	---	---	--

(3) 空間特性や自然環境を活かした個性ある事業

<p>[業務内容] ◆空間特性や自然環境を活かした個性ある事業 [取組み] ●粋な大人の芸能講座 「講談は面白い～女流講談の巻」 かつては大人の教養であった芸能を改めて知り、楽しむための公演。現代の多くの人が無縁になった講談を聞いてみる。</p>	<p>[達成指標] ①□事業参加者 80名以上 ②■顧客満足度 90%以上</p>	<p>[実施内容] テレビが出現する以前、ラジオの時代には誰でもが聞いた講談。今は寄席でしか聞けない。 大人の教養の一つとして、物語の芸を味わう。 今回は女流講談師のトップスター 神田紅による話とワークショップを実施する。</p>	<p>[達成状況] ①□事業参加者 結果:54名 ②■顧客満足度 結果:97.3% ③□アンケート回収率 結果:79.6% 今や知る人が少なくなった講談を取り上げたため、事業参加者が大幅に目標を下回った。</p>
---	---	---	--

(4) 市民協働による久良岐能舞台を活かした事業

<p>[業務内容] ◆市民協働による久良岐能舞台を活かした事業 [取組み] ○「第5回久良岐まつり」 地域市民に定着した久良岐まつり。地域の自治会連合町内会や福祉協議会、利用者団体との協働事業として開催する。市民が久良岐能舞台を知り、地域の大切な資産として活用する機会とする。また伝統芸能と市民が親しむ機会ともする。</p>	<p>[達成指標] ①□来場者数 1,200人以上 ②□能舞台催事の参加者数 250人以上 ③■顧客満足度 90%以上</p>	<p>[実施内容] 「住んで良しの歴史と文化の町岡村」をキャッチフレーズとして地域との連携を図り、地域の文化施設として伝統芸能の普及と振興に役立てることを目的とする「第5回久良岐まつり」を実施。 庭園部分では地元団体が演芸、屋台などを開催。庭園行事には2日間合計約1,500名が参加。能舞台催事では古典芸能紹介として低料金で能・狂言や地域の子ども達による伝統芸能発表など楽しめる公演を実施し、300名が鑑賞。 天気に恵まれなかったが、庭園、能舞台催事2日間併せて約1,800名もの多数の市民の来館があり大賑わいの二日間となった。</p>	<p>[達成状況] ①□来場者数 結果約1,800人 ②□能舞台催事参加者 結果388人 ③■顧客満足度 結果94.9% □アンケート回収率 結果:38.6% 地元の岡村地区連合町内会、岡村地区社会福祉協議会及び久良岐能舞台の利用者団体との協働事業として開催。実行委員会方式により磯子区の後援も得て実施。</p>
--	---	--	--

(5) 久良岐能舞台及び能楽等に関する情報の提供

<p>[業務内容] ◆久良岐能舞台を紹介する情報の提供 [取組み] Webサイトやパンフレットの配布、メディア等を積極的に活用して施設の紹介及び運営情報の提供に努める。</p>	<p>[達成指標] 久良岐能舞台の存在の周知及び専門施設としての存在感向上のための情報提供などを、きめ細かくメディア等に行い、記事掲載につなげます。 ホームページアクセス数 24万件/年</p>	<p>[実施内容] ①インターネットのWebサイトを積極的に利用して施設の紹介及び運営情報の提供に努めた。 ②来館者に対して施設案内パンフレット及び催事チラシの配布をし、能舞台の説明を実施。来館者以外に、市内及び近隣自治体文化施設、希望団体などへ配布を実施。 ③CATV、新聞、雑誌等の取材に対応して施設写真、運営紹介記事の掲載に協力。 CATV J:COM 横浜は、久良岐まつりの会場から生中継でにぎわいの模様を放送。 ④市内の能楽や茶道教室等へ施設紹介パンフレットを配架し、利用率向上に努めた。</p>	<p>[達成状況] 【別紙6】広報活動実績のとおり、メディアへの露出度を高めることができた。Webサイトへのアクセス件数は前年より低下した。 ①□年間Webアクセス数 結果 261,168件 対前年度比:88.2% ②以下の掲載、放送が行われた。 ・7月28日日本郵政出版 風景スタンプに久良岐能舞台紹介記事が掲載 ・7月28日タウンニュースに能楽入門講座の記事が掲載 ・情報誌はまかぜに庭園の水琴窟の記事が掲載 ・10月22日 JCOMで久良岐まつりを生中継 ・10月27日タウンニュースに小学校向け狂言鑑賞教室の記事が掲載 ・11月1日三井不動産情報誌こんにちには久良岐能舞台が紹介 ・京急まち Web マガジン2月号に久良岐能舞台紹介が掲載</p>
<p>[業務内容] ◆能楽等の公演情報や地域文化施設情報の提供 [取組み] ①久良岐能舞台の自主事業情報 ・市内の公共施設、PRボックス及び地元自治会掲示板掲出等の実施 ・首都圏各地の能楽堂でのチラシ配布 ・メディアへの情報提供(横浜市報・ヨコハマ文化情報、一般新聞、雑誌、フリーペーパー、放送、他) ・久良岐能舞台HPでの情報提供 ・ダイレクトメール送付による情報提供 ②地域文化施設情報等 久良岐能舞台施設内のパンフレットスタンド等での掲出を実施</p>	<p>[達成指標] ①□市内公共施設、PRボックス及び自治会掲示板合計150ヶ所以上への掲出 ②自主事業開催情報を一般新聞、雑誌、フリーペーパー等に開催毎に提供し、掲載を依頼する ③□自主事業情報を年3回以上、ダイレクトメールにて希望顧客に提供する</p>	<p>[実施内容] ①自主事業のチラシを市内及び近隣他市の文化施設や区役所、公民館等約150施設に掲示依頼を実施。市内約40ヶ所のPRボックスにチラシを配架。その他、公共掲示板や自治会等の掲示板約160箇所にチラシの掲示を行った。 ②自主事業の情報を朝日・毎日・読売・産経・東京・神奈川新聞に掲載。フリーペーパー・雑誌等にも掲載を依頼。 ③自主事業情報として年4回ダイレクトメールを送り、自主事業の広報に努めた。DM対象者は自主事業アンケートにてDMを希望した方に送り、1回につき約800通のDMを発送。 ④自主事業情報をメールで受けたい方に向けたメールマガジン「久良岐通信」を7月より開始。毎月1回、</p>	<p>[達成状況] ①□市役所、18区役所、市内外公共文化施設・公民館等 118箇所 首都圏能楽堂 8箇所 市内公共図書館 12箇所 JR・京急・市営地下鉄等 40駅のPRボックス、公共掲示板 51箇所 近隣地域自治会掲示板 63箇所 マンション掲示板 35箇所 その他掲示板(公園・駐輪所等) 8箇所 合計 351箇所 ②【別紙6】参照 ③□DM年4回配信 4/10、9/20、1/7、3/5 配信数 850通(4/10現在) ④□メールマガジン 久良岐通信 配信 毎月上旬に送信 合計 11回配信 配信数 192件(4/4現在)</p>

		月初に配信。自主事業のアンケートで配信を希望された方が対象。	
<p>[業務内容]</p> <p>◆インターネットを介した情報発信の仕組みの充実 [取組み]</p> <p>サイトの機能向上と多彩なメニューによりアクセス数の増加を図るとともに、常に最新情報を提供するサイト運営によりホームページ訪問者の満足感を満たすように図る。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>サイトの魅力向上やアクセス数増加のため、mixiなど他のインターネット手法も利用した情報発信の充実に努めます。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>①HP掲載情報(施設利用状況)の更新を毎日実施し、利用者がネットで空き状況を把握出来る環境の整備に努めた。スタッフブログ花頭窓の掲載を推進し、施設紹介や、自主事業の案内、スタッフの活動紹介に役立てた。</p> <p>②ソーシャル・ネットワーキングサービス「mixi」を活用し、施設紹介やコミュニティ形成、自主事業の告知等を実施。</p> <p>③HP上で利用団体からのお知らせとして、当館で実施している謡曲や仕舞の稽古の見学案内や月間スケジュール等、利用者の支援を図る情報の掲載を実施。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>①□スタッフブログ アクセス数年間 15,448 件 前年度比 +33.1%</p>

5 施設の運営に関する業務報告

(1) 人員配置について

項目	人数(計画)	人数(報告)	備考
館長	1名	0名	非常勤、能楽等専門家、未選任
館長代理	1名	1名	管理運営責任者、事業企画担当
職員・主任	1名	1名	常勤、施設管理運営責任者
職員	3名	4名	常勤、施設管理運営担当
職員	1名	1名	事業企画、運営管理担当
合計	7名	7名	

(2) 開館日数について

23年度
348日

(3) 利用状況等について

施設名	23年度		
	稼働率	利用者人数	見学者数
能舞台	日にち単位:64%	7,917人	8,850人
茶室	7%	309人	
和室	21%	1,797人	

(4) ア.利用者満足度の高い運営

<p>[業務内容] ◆利用者ニーズの把握と反映 [取組み] 施設利用者に対する利用者アンケート調査等により利用者満足度を調査し、問題点やニーズの把握に努め、運営の改善を図る。自主事業実施毎に参加者アンケート調査による参加者満足度を調査し、問題点やニーズの把握に努め、自主事業の企画運営の改善を図る。</p>	<p>[達成指標] ①□施設利用者アンケート実施 年1回実施 ②□事業参加者アンケート実施 全ての自主事業で実施 ③■利用者満足度 90%以上</p>	<p>[実施内容] ①施設利用者に対し、年1回のアンケート調査を3/15～3/30に実施し意向把握を行った。 ②自主事業では毎回参加者に向けた催事のアンケート調査を実施。 ③毎月、館長以下全職員参加による月例運営会議を実施し、月間利用報告やアンケート調査結果等のデータをもとに改善検討の上、反映を行った。 ④自主事業のテーマ、内容についてはアンケートによる要望等も加味し、次年度以後の計画に反映。 ⑤指定管理者において対応が不可能かつ必要性が感じられる問題点については随時市担当者に報告し、検討を行った。</p>	<p>[達成状況] 【別紙5】アンケート集計結果のとおり。 ①利用者アンケート実施 利用団体 66 団体対象 【別紙5】(2)参照 ②■事業参加者アンケート実施(主催全事業) 自主事業満足度 全事業 96.4% ③■利用者満足度 【別紙5】(2)参照 □月例運営会議 毎月1回実施達成 (4/21、5/19、6/23、7/21、8/18、9/22、10/20、11/18、12/15、1/19、2/16、3/22)</p>
<p>[業務内容] ◆伝統的空間の維持とホスピタリティの向上 [取組み] 閑静な自然環境の維持と能舞台や茶室等での事業と利用が伝統芸能の保持と普及に役立つように、施設の設置目的に添った運営をする。また、伝統芸能の催事を中心とする施設の運営に相応しい職員の接客対応の向上に努める。</p>	<p>[達成指標] ①□伝統空間の維持に役立つ運営の実施 ②施設の目的に相応しい職員の接客対応</p>	<p>[実施内容] ①施設の設置目的に沿った運営を図るため、施設利用受付時に利用内容についての説明や利用当日の対応を充実させ、親切丁寧な管理を行った。 ②施設・庭園の利用及び見学者に対し、環境維持を図りつつ施設案内や能舞台の説明を行い、利用の振興を図るとともに施設の周知に努めた。 ③自主事業を通じ、施設運営の適切な方向性の維持を図り、伝統芸能の普及や維持に努めた。 ④他能楽堂との交流や、実地研修を通じ、職員のホスピタリティの向上や接遇及び能楽に関する知識経験の向上を図った。</p>	<p>[達成状況] ①□施設固有の特性を活かし、適切に管理・運営できました。利用申請の不許可はありません。 ②□他能楽堂の催事調査を12回実施し、伝統芸能を扱う職員としての知識経験向上に努めた。横浜能楽堂と催事チラシ広報を互いに掲示や挟み込みすることで協力し合った。</p>
<p>[業務内容] ◆苦情処理への対応とその反映 [取組み] 苦情には直ちに対応し、運営会議を通じて全職員に対応を周知・検討するなど、PDCA サイクルにしたがって適切に対応する。また、費用等検討を要する内容については文化振興課と協議する。</p>	<p>[達成指標] ①□苦情ゼロ ②苦情があった場合の適切な対応</p>	<p>[実施内容] ①来館者からの苦情や相談は直ちに責任者に報告され、対応が図られる体制を維持。課題は月例運営会議で討議し、反映。 ②昨年度に引き続き、冬期(12月～3月)見所の空調機不具合により、温度設定を30℃に設定するも寒いとの指摘があり、電気ストーブにて対応。 ③1月から茶室の空調設</p>	<p>[達成状況] 23年度の苦情・要望件数 ①□施設運営に対する苦情: ・空調の効き具合により、寒い、或いは効かない等の苦情:7件 ②□要望、指摘等:16件 【別紙5】(2)自由回答欄参照 ・見所の空調不具合に対する改修要望、指摘 ・茶室空調機の不具合に</p>

		備不具合により暖房ができず、寒いとの指摘によりストーブにて対応。	対する指摘 ・廊下奥トイレの改修要望 ・舞台照明音響等設備の不具合/操作性改善要望 ・鏡の間の使い勝手に対する指摘(鏡の間に置いてある箆筍、机、備品等が利用時に邪魔になる)
--	--	----------------------------------	---

イ.施設の利用促進による利用率向上

◆貸館利用促進の工夫 [取組み] 閑静な環境にある能楽等の専門施設として、各種のメディアを利用するなどして広く周知に努め、利用率の向上を図る。また、自主事業等の機会を捉えて報道機関等に取材を呼びかけ、施設のメディアへの露出機会の増大を進めることで知られた施設として利用方法、申込方法等を個別に説明し、周知を図る。	[達成指標] ①□貸館利用率 能舞台 60%以上 和室 20%以上 茶室 10%以上 ※能舞台については日にち単位、和室・茶室については時間帯単位 ②□施設稼働率 68%以上 (全利用日数/利用可能日数)	[実施内容] 施設の利用率向上に向けた取組みを推進。 ①施設案内パンフレットを来館者以外に、市内及び近隣自治体文化施設、希望団体などへ配布。 ②Web サイトの利用案内情報の充実を図り、ネットからも施設情報や利用可能日時の確認が出来る様努めた。紅葉時期には庭園紹介に合わせ、施設や利用促進の情報掲載を依頼し、利用客の新規開拓を図った。 ③自主事業情報の広報露出を高め、各種新聞や雑誌に掲載を依頼。J:COMの生放送出演など地域メディアから情報を配信し、施設の紹介に努めた。	[達成状況] 【別紙3】【別紙4】【別紙6】参照 □[利用率] 能舞台 64% 和室 21% 茶室 7% □施設稼働率 76.7% (267日利用/348日) 新規利用団体数 13件 年間利用者数 18,873名 年間利用団体数 415件 久良岐能舞台主催講座を主な要因とする施設稼働率が向上した。 茶室は冬季の空調機故障などで利用が伸びなかった。
--	--	--	--

ウ.ニーズに基づくサービス向上

◆多角的ニーズの把握・分析 [取組み] 来館者、利用者アンケート調査により寄せられるご意見を中心に、サービスに関するニーズを把握し、サービスの向上に役立てるための分析を行なう。	[達成指標] ①施設利用者アンケートの実施。 ②自主事業参加者アンケートの実施。アンケート調査の結果は関係者に回覧、事業計画、施設運営に反映させるため、月次運営会議において検討する。	[実施内容] ①施設利用者アンケートを年に1回実施し、通常利用されている際の不具合や要望などの把握に取り組んだ。 ②自主事業及び共催・後援事業参加者に対し、アンケートを実施し、その催事への感想や今後の催事への要望、施設利用に対する要望等を把握し、今後の自主事業や運営時の対応について月次運営会議にて検討。 ③来館者の要望や指摘に耳を傾け、接遇サービス向上を進めた。	[達成状況] 【別紙5】参照 ①□施設利用者アンケート 年1回実施 ②□事業参加者アンケート 7回実施 (小学校向け狂言鑑賞教室は担当教諭に対して実施。)
◆サービス開発、提供 [取組み] 来館者の利便性向上に向けたサービスの開発と提供	[達成指標] ①廊下奥トイレ改修、空調設備不具合等、要望の実現をすすめる。	[実施内容] ①利用団体から改善要望の高かった廊下奥トイレ改修を検討し要望を提出。	[達成状況] ①「23年度予算見積調書個別表」に各部不具合修繕、舞台脇トイレ改修希望

<p>に努める。寄せられている要望は実現困難或いは直ぐには実現できないものが多く、市とともに継続的に検討を進める。</p>		<p>②伝統芸能振興につながる物品の販売を活性化するため、価格や商品構成、特注品の受注などを検討し、対応を実施。</p>	<p>を提出済 ②「建築物修繕技術相談」、屋根、応接室床等、劣化腐食調査実施、各部不具合修繕、舞台脇トイレ、見所空調機改修要望済 ③今年度からの新規事業、久良岐能楽講座の開始に併せて、受講者の利便のため稽古用の袴など物品の販売の拡充を図った。</p>
---	--	--	---

エ.適切な組織・人材の確保

<p>◆適切な運営組織・人材の確保 [取組み] 施設の設置目的に添って能楽等の伝統芸能の普及継承業務の遂行に適した運営が行える組織の整備に努める。またそのために必要な人材の確保に努める。</p>	<p>[達成指標] ①適切な運営組織 自主事業の充実に比例する財政的資源の確保を進める ②人材の確保 施設の専門性や適切な運営に対応する人材の確保を進める</p>	<p>[実施内容] 日常業務に対して過不足無く適切に機能する運営組織を構成。自主事業等、人手を要する場合や音響業務等専門性を要する場合には本社及び当社の近隣事業所から臨時増員の支援体制を構築。能楽等の伝統芸能の事業企画・運営に関して、部外の専門家をアドバイザーとして委嘱し、より高度な事業の実施に適する人員体制とした。</p>	<p>[達成状況] ①現場・本社とも適切に運営することができた。より高水準な事業の実施に対し、部外のアドバイザーが催事の解説を行うなど、有効に機能した。 ②職員研修実施 能楽に関する職員の知識向上のため、国立能楽堂、他の施設での鑑賞を中心とする研修を実施した(随時)。</p>
<p>◆運営に支障のない人員の配置 [取組み] 日常業務を基本とした人員配置とし、自主事業や久良岐まつり等の規模の大きな事業実施に際してはボランティアスタッフの参加や本社からの支援を行なう。</p>	<p>[達成指標] ①□自主事業時に本社からのスタッフ支援を実施</p>	<p>[実施内容] ①日常業務は原則として常駐スタッフにより実施。 ②自主事業等の記録写真撮影のため、市民の写真撮影ボランティアに協力を依頼し実施。 ③自主事業等で臨時に要員が不足する場合は、近隣住民のボランティアスタッフに協力を依頼し対応。その他、専門技術を要する場合は本社から専門スタッフを要請し対応した。 ④久良岐まつりでは地元の自治会などとの協働により実施。 ⑤新規事業として久良岐能楽講座を通年事業として実施するため、企画運営担当として本社から支援で対応。</p>	<p>[達成状況] ①□写真撮影ボランティアスタッフ 1名 ・催事運営ボランティアスタッフ 1名 ②□久良岐まつり ・音響スタッフ 1名配置 ③久良岐能楽講座 ・講座企画運営スタッフ 1名</p>
<p>◆ネットワーク、協力体制の構築 [取組み] 施設の運営に望まれる専門的な部分に関しては館</p>	<p>[達成指標] ①協力体制の構築 第5回久良岐まつりの実施を中心とする地域との協力体制の強化を促進する</p>	<p>[実施内容] ①久良岐まつりでは岡村地区連合自治会、社会福祉協議会と実行委員会を組み、地元地域での協力</p>	<p>[達成状況] ①久良岐まつりを中心とし、近隣地区や地域の小学校との連携、協力体制の強化に努めた。自主事</p>

<p>長から指導助言を得るほか、関連の機関、専門家などから協力を得る。また地域に生きる施設として前年に引き続き、地域市民団体等との協力体制を構築する。</p>	<p>②ネットワーク構築 施設運営や自主事業を目的として外部機関、組織、個人とのネットワーク構築を進める。</p>	<p>体制を構築し、実施した。 ②能楽等の専門施設として成長するため、久良岐能舞台で稽古を持つ能楽師や、自主事業に出演された能楽師、狂言師、囃子方との連携を強化し、今後の施設運営や自主事業におけるネットワークを構築した。 ③他の伝統芸能においても、それぞれの分野でネットワークの構築を推進した。</p>	<p>業実施時には地元商店を利用し、同時にパイプ椅子の提供を依頼し、地元業者と相互に連携した協力体制を構築。 ②能楽界とのネットワーク構築を進め、継続した出演希望や出演者からの企画提案を受けた。 ・平成 23 年度自主事業「久良岐能楽入門講座」は平成 21 年度出演者からの提案にて事業企画・実施。 ③能楽以外の古典芸能について公演調査などを実施し、今後の自主事業企画に役立てた。 (調査対象: 講談、乙女文楽、日本舞踊、邦楽 等)</p>
---	---	---	--

6 施設の管理に関する業務報告

(1) 安全、安心、安定、快適な施設の維持管理

<p>◆事故のない安全、安心の維持管理 [取組み] 庭園を中心に毎日巡回による点検によって樹木等の管理を適切に行い、事故等を未然に防止する。</p>	<p>[達成指標] ①管理規定に従って毎日の管理業務の実施を行う</p>	<p>[実施内容] 安全・安心で快適な維持管理のため、久良岐能舞台管理規定に基づき維持管理業務を実施。 ①施設維持管理 ②館の利用許可関係 ③毎日の庭園管理 ④施設や周辺環境維持 木造施設にとって湿気が多い厳しい環境下であり、できるだけ長寿命化を図るべく、最適な環境維持管理を実施。 ⑤外壁改修工事 12月～3月にわたり、久良岐能舞台外壁改修工事が実施された。工事期間や内容について利用者への周知を行い、工事内容に合わせて工事情報を緻密に開示し、利用者の安全面の確保に取り組んだ。騒音や異臭が発生する場合は利用者へ事前に伝え、利用者の要望に配慮した工事スケジュールの調整を実施。</p>	<p>[達成状況] ①管理規定に従い、毎日適切に業務を実施した。 ②4/5朝の庭園清掃時、山門木製扉上部が破損されているのを発見、南部公園緑地事務所へ通報。文化振興課へも報告。後日、修繕された。 ③強風雨により正門門扉が大破。南部公園事務所に修繕要請(3/31)</p>
<p>◆能舞台の適切な維持管理 [取組み] 日常的管理は常駐職員による毎日清掃と目視点検管理を中心に実施する。定期点検時には常駐職員及び委託専門業者により、美観及び機能を維持する保守管理を行なう。</p>	<p>[達成指標] ①施設の老朽化した部分や設備の維持更新、改修について関係先と協議を進める</p>	<p>[実施内容] 施設や庭園内を毎日朝、全職員によって丁寧な清掃を行いました。能舞台は舞台磨きを一週間に一度実施しました。湿度の高い環境にあつて、木造施設のため腐食が進みやすく維持が難しい状況にあるため、施設及び設備の点検を毎日実施し、適切な管理を行いました。 特に樹木に囲まれた環境下、屋根に積る落葉が屋根の腐食を進行する為、適宜、屋根上の清掃を実施しました。能装束を収納している鏡の間は中の池の上にあるため、毎日注意深く除湿などの湿度管理を行いました。</p>	<p>[達成状況] ①7/20夜間の強風雨の影響により、7/21朝、和室及び外廊下に多数の雨漏り後を発見。文化振興課に連絡、対応を依頼。 ②茶室空調が効かず、文化振興課に連絡(1/30) ③建築局発注による建物外壁改修工事が12月～3月にかけて実施された。 ④ボイラー室用途変更工事、新温水器設置が実施された(3/12) ⑤管理事務所内内装模様替え工事を実施(3/23)。</p>
<p>◆敷地全体の防犯、安全管理 [取組み] 施設の秩序を維持し、犯罪や火災等への警戒及び防止活動を行う。</p>	<p>[達成指標] ①危機の発生以前に対処する予防措置を行う ②開館時間中の敷地内の状況に注意を払う</p>	<p>[実施内容] 施設及び敷地全体の防犯管理を確実なものとするため、施錠時刻及び日中に樹木、植栽の間などのチェックも含め丁寧な見回りを</p>	<p>[達成状況] ・4/5朝の庭園清掃時、山門木製扉上部が破損されているのを発見、南部公園緑地事務所へ通報。文化振興課へも報告。後日、</p>

		実施。市の公園として市民の自由な出入りが多いため、清掃を念入りに行う他、人の動きに特に注意を払った。	修繕された。 ・強風の度に樹木の倒壊や大きな枝が折れるなどの被害が発生。庭園散歩者や通行者に被害が発生しないように、規制や注意喚起を行った。
--	--	--	---

(2) 適切な環境維持管理

<p>◆庭園等の美観維持管理、適切な手入れ [取組み] 庭園等の美観を維持するため、職員による毎日清掃及び巡回点検を行い、南部公園緑地事務所と連携して適切な手入れを実施する。また庭園利用者による環境被害の発生に関しても細心の注意を払う。</p>	<p>[達成指標] ①美観維持 庭園の草引き等の適切な実施 ②樹木等の繁茂に対し、南部公園緑地事務所に伐採、刈り込み、枝打ち等を要請する</p>	<p>[実施内容] ①庭園内植栽の老朽化、繁茂等について、南部公園緑地事務所と協議の上、伐採や間引き、除草等の適切な対処を実施。 ②草花の自主的な植え替えを実施し、美観を維持。 ③庭園内污水枡マンホールから污水が溢れ、市担当者へ報告し対応を実施。 ④南部公園緑地事務所が育成した環境ボランティアグループ「磯子グリーン・サポーター」の研修を兼ねた庭園内の植物管理を受け入れ。</p>	<p>[達成状況] □【南部公園緑地事務所】 ・5/16 枯枝多数が落下し、危険除去のため南部公園緑地事務所に撤去を要請、6/8・9・10 実施された。 ・要請していた舞台裏の竹林の間引き作業を6月に実施。間引き本数 約250本。 ・台風15号により樹木枝多数落下。(9/22) 落枝整理(9/23) ・3/11 で転倒した灯籠1基の復元が実施された(9/24) ・山門そばの台風による倒木除去(10/19) ・10/25 磯子グリーン・サポーター(28名)による第1回の作業が実施された。 ・一の池、三の池浚渫実施(10/26) ・11/1 敷地内倒木の伐採搬出及び安全対策工事を実施。 ・12/20 磯子グリーン・サポーター(25名)による第2回の作業が実施された。 ・水琴窟横の檜伐採跡にシロアリを発見。防除を公園緑地事務所に要請、実施された(2/27)。 ・污水排水用マンホール内点検実施(12/28) ・2/29 前夜の積雪の除雪作業を実施。 ・久良岐能舞台外壁改修工事(12~3月)実施に伴い、建物外側の垣根2ヶ所の撤去と新設を実施。 (内、1ヶ所が既存と異なる仕上がりのため、旧仕様と同様の回復を南部公園緑地事務所が要求)</p>
<p>◆適切な清掃とゴミ削減とその処理</p>	<p>[達成指標] ①ゴミ削減</p>	<p>[実施内容] ①利用団体にゴミの持ち</p>	<p>[達成状況] ①□ゴミ廃棄量(kg)</p>

<p>[取組み] 施設の敷地内、周囲及び門前等の快適な環境を維持するため、職員による毎日清掃を実施するとともに、利用者にゴミの持ち帰りを呼びかけてゴミ削減の促進を行う。</p>	<p>利用者のゴミ持ち帰りなど適切に推進 ②清掃 毎日清掃の確実な実施</p>	<p>帰りを呼び掛け、弁当発注はゴミの出ない弁当箱を使用する業者を紹介し、ゴミの削減に努めた。 ②毎日、庭園清掃とともに敷地前の道路も清掃し、近隣地域の環境維持や地域連携の構築に努めた。 ③ゴミ分別を徹底し、ごみの資源化率の向上を図り、「ごみゼロルート」に対応した処理方法を行った。</p>	<p>【別紙2】イ 廃棄物管理実績参照 廃棄量 271.4Kg 資源化量 661.4Kg 資源化率 70.9% 期末に利用不可能備品を処分のため、廃棄物が前年に比べ増加した。 ・ごみゼロルート回収報告(4/2、7/4、10/7、1/7) ・資源循環局産業廃棄物対策課へ22年度産業廃棄物管理票交付等状況報告書を送付(6/11) ②毎日の庭園清掃実施 ・岡村地区一斉美化清掃に参加(6/9)</p>
--	---	---	--

(3) 施設予防保全への取り組み

<p>◆ 日常メンテナンスによる不具合の発見、評価 [取組み] 日常的保守管理は職員による毎日清掃と目視点検管理を中心に実施する。定期点検時には職員及び委託専門業者による美観及び設備機能を維持する保守管理を行う。不具合発見時には職員より被害の評価見積もりを行い、緊急性の薄い場合は経過を観察し、緊急性が高い場合は文化振興課に遅滞無く連絡するとともに、専門業者による対策の見積もりを行う。</p>	<p>[達成指標] ① 日常メンテナンス等を通じて不具合の発見や初期対応を適切に実施する ② 不具合の評価を行い、職員が対応可能なものについては適切な保守作業を行う ③ 評価の結果、市への報告が必要なものについては報告等適切に実施する</p>	<p>[実施内容] ① 日常のメンテナンスとして毎日の施設内及び庭園内の目視点検を行い、不具合の発見や初期対応を実施。 ② 月次施設点検による異常の有無の点検及び対応を実施。職員で対応可能な保守作業(清掃、庭園管理、施設備品管理等)は職員が対応した。 ③ 不具合発生時には、市や本社への報告をはじめ、適切な初期対応を実施しました。</p>	<p>[達成状況] 不具合発生時には迅速に対応でき、事故はなし。 ・建築基準法12条点検(23.3.末提出済) ・建物修繕設計調査対応(23.6/15) ・建物外壁修繕工事調査対応(6/21) ・財政局公共施設事業調整課「平成23年度からの施設保全の仕組みについて」講習会出席(6/22) ・建築基準法12条設備点検(7/25) ・分電盤リモコンプレーカー交換(8/9)(2/1) ・台風15号による和室廊下、和室内等に雨漏り、文化振興課に報告(9/22) ・外壁改修工事着工(12/2) ・建築局保全推進課、見所、茶室空調機の劣化状況確認(12/13) ・茶室空調機機能せず、ストーブにて対応(1/9) ・玄関空調機不具合、修繕実施(1/24)</p>
---	---	---	---

7 その他実施報告

(1) 危機管理対策の充実

<p>◆危機の未然防止 [取組み] 緊急事態発生時の対応を職員で訓練として確認し、対応の徹底を図る。所蔵品管理のため、能装束を収蔵している鏡の間内の環境を毎日点検し、異常が無いことを確認する。</p>	<p>[達成指標] ①□職員全員による防災訓練 年2回 ②□鏡の間内の点検・毎日 ※収蔵室である鏡の間は湿度が高い環境にあるので、除湿機の状態を毎日確認する。 ③□収蔵品の棚卸点検・年1回(能装束公開展示を兼ねて行う際に点検を実施する)</p>	<p>[実施内容] ①設備点検業者(マイスターエンジニアリング)と職員全員による防災訓練を年2回実施し、災害時に備えた。 ②鏡の間の除湿点検を毎日実施し適切に管理した。年に1回、能装束収蔵箆笥の湿気取り交換を実施。 ③施設の収蔵品の棚卸点検を実施した。</p>	<p>[達成状況] ①□防災訓練実施 (7/26.1/21) ・消防設備点検報告書を消防署へ提出(2/20) ②□鏡の間箆笥湿気取り交換(5/25、10/20) 匂袋交換(11/16) ③□収蔵品の棚卸点検実施(3/30)</p>
<p>◆危機管理マニュアル等非常時対応の運用 [取組み] 久良岐能舞台消防計画に基づき、防災訓練の日に職員全員による非常時対応を確認する。</p>	<p>[達成指標] ①定期的な消防訓練の他、非常時対応の危機対応訓練を行う</p>	<p>[実施内容] 施設の危機管理マニュアルにより、事故、災害等の発生時の対応について、全職員で定期的に訓練を行い、非常時の対応を確認した。</p>	<p>[達成状況] ①□防災訓練の際に、災害訓練を実施し、利用者の避難経路の確認等を行った。(7/25.1/16) ②□AED定期点検 (9/10) ③東北三陸沖地震関連 ・「義援金」募金活動参加(23.3/13～24.3/31) 義捐金振込(4/12、5/23、3/12) ・横浜市からの情報揭示依頼に従い、施設内に災害に関する情報及び節電に関する情報を揭示 ・施設は計画停電区域外であること、催事の開催等をHPやブログで情報配信。</p>

(2) 自己評価、PDCAサイクルの導入と確実な運用

<p>◆業務記録、モニタリングへの対応体制の整備 [取組み] 業務日報、施設利用記録等による業務の記録を確実に実施する。 自主事業毎に参加者にアンケートによるモニタリングを実施する体制を維持する。</p>	<p>[達成指標] ①各種業務記録、アンケート等モニタリングを確実に実施する</p>	<p>[実施内容] ①施設利用関係各記録、業務日誌、運営会議議事録、市連絡調整会議記録、自主事業関係各記録、事業関係参加者アンケート、施設利用者アンケート等の実施・統計処理及び記録整備を実施。</p>	<p>[達成状況] ①□各種業務記録の実施 施設の維持管理に関する記録、貸館等施設運営に関する記録、自主事業の企画運営に関する記録、物品販売に関する記録、月次運営会議・市連絡調整会議等会議体に関する記録、個人情報保護・業務品質管理等に関する記録を適正に行った。</p>
--	--	--	--

<p>◆ 事業推進におけるPDCAサイクルの的確な運用 [取組み] ISO9001に基づく業務品質管理を実施するため、PDCAサイクルの運用体制を適切に推進する。</p>	<p>[達成指標] ①事業計画、事業報告による自己評価システムと連動する事業のPDCAサイクルを確実に推進する</p>	<p>[実施内容] ①当社のISO9001認証取得機構の一部として、ISO9001認証の品質管理に従って事業運営のPDCAサイクルを運用し、施設のサービス改善などに努めた。</p>	<p>[達成状況] ①昨年の参加者アンケート等で寄せられた参加者からの要望を加味し、今年度の催事計画や運営を行いました。事業報告や参加者アンケートの結果を毎月の運営会議にて検討し、次回以後の催事対応や運営体制に反映。</p>
<p>◆ 自己評価システムと運用 [取組み] 利用者アンケート、事業参加者アンケート及び自主事業ごとの事業報告書などによる自己評価と点検による改善運用を進める。</p>	<p>[達成指標] ①□アンケート回収後、翌日集計、職員等への関係者回覧の実施 ②□事業終了後2週間以内の事業報告書作成と関係者回覧 ③直ちに実施できる改善点はすぐに対応する ④□毎月1回の運営会議において問題点の改善討議と方針策定、実施 ⑤次年度事業計画への反映</p>	<p>[実施内容] 施設の管理運営の全ての面で計画と実施結果評価を行い、業務の内容、方法等について改善を図った。 ①自主事業企画書及び自主事業実施報告書、自主事業予算書及び自主事業決算書の作成により、自主事業の自己評価システムを形成し、自主事業の見直し、事業方法などの改善を進めた。 ②自主事業参加者アンケートは翌日集計、職員・関係者へのアンケート結果回覧を実施。 ③直ちに実施できる改善点はすぐに対応した。 ④毎月1回の運営会議において問題点の改善討議と方針を策定し、随時対応を行った。</p>	<p>[達成状況] ①アンケート結果や利用者からの要望にこたえた施設運営を実施しました。自主事業においては、参加者の増加やリピーター客の増加などの成果を得ました。 【別紙4参照】 □利用者数 10,023名 見学者数 8,850名 合計 18,873名 合計人数が6年連続増加 ②客席配置を改善し、前列から順に後ろに向かって高くなる配置にすると共に後席のパイプ椅子を増やし、参加者から舞台が見やすくなったと好評を受けた。 ③鏡の間の物品が利用上邪魔になるとの利用者からの指摘を受け、文化振興課に要請していた電気温水器撤去で出来た倉庫に移すなどして一部が改善された。(3/24)</p>

(3) 情報公開、説明責任の的確な実施

<p>◆ 情報公開への取組み [取組み] 年度事業計画、事業報告を中心に施設のホームページを利用して情報公開を進める。</p>	<p>[達成指標] ①施設運営情報の公開貸館情報、自主事業情報、伝統芸能の普及に関する情報等を適切に公開する ②指定管理者情報の開示。年度事業計画、事業報告などを開示する</p>	<p>[実施内容] 施設運営の透明性の確保と公共施設としての的確性を保持するため、情報公開に努めた。 ①施設の予約状況は毎日最新の状態に更新を実施。月間スケジュールや利用者稽古の案内を毎月更新し、自主事業情報を適切に開示。 ②指定管理者からのお知らせとして、22年度事業報告書、23年度事業計画書を公開。</p>	<p>[達成状況] ①施設運営情報の公開、貸館情報、自主事業情報利用団体からのお知らせ等を随時更新し、適切に公開。 ②22年度業務報告書及び23年度事業計画書を公開。</p>
---	---	--	---

<p>◆個人情報保護への取組み</p> <p>[取組み]</p> <p>社内の個人情報保護規定に則り、利用者や事業参加者などの個人情報を適切に取り扱う。</p>	<p>[達成指標]</p> <p>①□年 1 回の社内個人情報研修に基づき、確実な個人情報保護を実践する</p>	<p>[実施内容]</p> <p>当社は個人情報取り扱い事業者として、久良岐能舞台の運営においても適切な個人情報の取り扱いを実施した。</p> <p>①□年1回、全職員対象に個人情報取り扱い研修を実施。</p> <p>②個人情報の外部流出を防止するため、情報を保管するパソコンは外線と接続しないようにした。</p> <p>③アンケートなど、個人情報が記載されている用紙類は、本社においてデータ処理後は規定期間の保存管理の後、適切な方法で処分。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>個人情報取扱いに関する社内規定は遵守されました。また、個人情報取扱い研修については、より充実させた形で実施することができた。</p> <p>・○個人情報取り扱い研修実施(23.3.22)</p> <p>当社のPマーク取得(24年4月初め予定)に向けて、改めて個人情報保護の認識を高め、確認する検収を実施した。</p>
--	--	---	---

8 収支について

(1) コスト削減への努力

<p>◆コスト削減への努力 [取組み] 管理運営上の無駄を見直し、PDCA サイクルの運用のもとでコストを見直し、費用の低減化を進める。</p>	<p>[達成指標] ①全ての項目について見直しを行い、適切なコスト削減を進める</p>	<p>[実施内容] 運営に関する全ての面で、全職員で無駄の排除と効率的な業務の推進に取り組んだ。 ①利用予約の無い時間帯の消灯、空調の停止、水道水の節減等を推進した。 ②郵便、配送、消耗品など全ての業務で低価格への見直しを行った。 ③清掃用具等、買い替え期間を延伸し、消耗品コストを削減。買い置きは必要最小限とした。</p>	<p>[達成状況] 利用者数の増加から、利用者1名にかかるコスト経費の削減に努めた。各職員がコスト削減を心がけ、適切に実施した。</p>
--	---	--	--

(2) 収入向上への努力

<p>◆収入向上への努力 施設利用者の拡大を図り、施設利用料収入の増収を目指す。 [取組み] 施設利用者の拡大を図り、施設利用料収入の増収を目指す。</p>	<p>[達成指標] ①<input type="checkbox"/>自主事業参加者の増加及び新規講座事業による事業収入の増加を図る 事業収入 年間 300 万円以上 ②<input type="checkbox"/>施設利用料収入の増加につながる利用拡大を図る 利用料金収入 年間 400 万円以上 ③販売物品収入の増加を図る</p>	<p>[実施内容] ①新規の講座事業を含む自主事業参加者の拡大や事業収入増加を図り、事業の広報や事業内容の充実を実施。 ②サービスの向上、広報宣伝の努力、快適な施設運営を行い、新規利用者の開拓や新規利用の撮影依頼などがあり、利用者の拡大を達成。 ③利用者や自主事業参加者へ販売物品の案内を実施し、販売促進を図った。</p>	<p>[達成状況] ①<input type="checkbox"/>新聞・雑誌、フリーペーパー、放送などを積極的に活用し、施設紹介や自主事業の案内で自主事業参加者の増加、施設利用者の増加などの成果を得た。 事業収入(予算比) 191.4%の大幅増収達成 ②<input type="checkbox"/>貸館利用数では前年度より新規利用団体が 21 団体増加しました。 地元のケーブルテレビ、J:COM横浜が久良岐まつり会場から生中継を行い、多くの市民が催事の模様をテレビで楽しんだ。</p>
--	--	---	---

(3) 外部資金獲得への努力

<p>◆外部資金獲得への努力 [取組み] 自主事業の必要資金確保を行う</p>	<p>[達成指標] ①積極的に助成資金の獲得を行う</p>	<p>[実施内容] ①芸術文化振興基金へ「伝統芸能体験講座 能の謡を体験しよう」催事助成金として 42 万円を申請。 ②地域創造へ「子ども芸能発表会」催事助成金として 100 万円を申請。</p>	<p>[達成状況] ①<input type="checkbox"/>申請額 42 万円 結果 20 万円助成 ②<input type="checkbox"/>申請額 100 万円 結果 不採択 合計 20 万円の助成</p>
---	-----------------------------------	--	--

(4) 収支決算額について

ア. 実施方針

指定管理期間第2期の1年目は収支バランスの向上と堅実な運営に努める。

新規講座事業開催により22年度+7%の施設利用収入を見込む。

自主事業は前年度+新規講座事業の受講料収入を見込む。講座以外の自主事業は実施回数が少ないため、前年度より減少する。

自主財源の開発として19年度から始めた能楽関連の小物の物品販売事業は、引き続き販売努力を進める。

各種の助成金の獲得に努力する。

運営経費は前年に続き抑制に努める。

自主事業費については、主催事業では従来通り100%の自主企画制作を貫いて制作経費の抑制を図り、外部への委託経費部分については効果的な支出に努める。

イ. 収支

当期は、自主事業収入が新規講座事業が寄与して予算比191.4%を達成。

指定管理期間第2期初年度として、過去5年間の利用促進や知名度向上対策の効果が反映し、多くの自主事業で良好な販売成果となり、大幅な増収となった。又、自主事業における助成金獲得に挑戦したが、成果を残せなかった。

収支全体としては様々な経費節減努力、増収策の実施などの結果として、当施設の運営を開始して以来、初めて健全な収支を達成できた。

収入の部

(単位：円)

	予算額	決算額	差異	収入率(%)	構成比(%)
指定管理料	20,360,000	20,360,000		100.0	65.3
利用料金収入	4,025,000	4,441,670	416,670	110.4	14.3
自主事業収入	3,000,000	5,740,500	2,740,500	191.4	18.4
物品販売収入	505,200	409,809	▲95,391	81.1	1.3
その他収入	200,000	206,432	6,432	103.2	0.7
収入合計	28,090,200	31,158,411	3,068,211	110.9	100.0

支出の部

	予算額	決算額	差異	執行率(%)	構成比(%)
人件費	13,210,000	10,992,474	▲2,217,526	83.2	36.8
施設管理費	2,900,000	2,663,052	▲236,948	91.8	8.9
事務費	5,300,000	8,193,012	2,893,012	154.6	27.4
広報宣伝費	850,000	812,260	▲37,740	95.6	2.7
自主事業費	5,243,000	6,925,070	1,682,070	132.1	23.2
物販仕入費	587,200	229,663	▲357,537	39.1	0.8
その他費用	0	59,350	59,350	-	0.2
支出合計	28,090,200	29,874,881	1,784,681	106.4	100.0
当期収支差額	0	1,283,530	1,283,530		

【別紙 1】

自主事業一覧

(単位：人)

分野	事業名	実施日	参加者内訳			
			募集数	実売数	参加者数 招待・子供含	募集に対する割合
普及啓発事業	粋な大人の芸能講座 「講談は面白い」女流講談の巻	4月10日	80	54	54	60.0%
普及啓発事業	あなたが能舞台に立つ日 No.16 伝統芸能体験講座 「能の謡を体験しよう」	5月8日	70	67	75	107.1%
普及啓発事業	能楽入門講座説明会	6月19日	40		73	182.5
普及啓発事業	所蔵能装束と能面作品展 展示と講演	9月3日	70	80	85	114.3%
教育支援事業	小学校向け狂言鑑賞教室	10月17日 10月18日 10月19日	1,000名		1,409	140.9%
市民協働事業	第5回久良岐まつり	10月22日 10月23日	全体 1,000 能舞台 200	全体 能舞台 163	全体 1,800 能舞台 495	全体 180% 能舞台 247.5%
鑑賞事業	邦楽花舞台 23 尺八・箏+横笛の競演	11月27日	90	94	91	104.4%
鑑賞事業	第4回久良岐狂言会 山本東次郎家の狂言師達	3月11日	90	113	103	125.6%
普及啓発事業	能楽入門講座 やってみよう謡曲入門講座 やってみよう仕舞入門講座 能楽囃子入門講座 笛・小鼓・大鼓・太鼓	7月から通年	各回30 計85		6,333	248.4%
総参加者数					10,023	

【別紙 2】

ア 保守管理業務年間実績

業務内容	実施者	実施内容	予定時期	実施時期
施設巡回点検業務	(株)マイスターエンジニアリング	空調・電気・給排水・消防・ その他定期点検	4月25日 7月25日 10月24日 1月16日	4月25日 7月25日 10月24日 1月16日
消防設備点検業務	(株)マイスターエンジニアリング	消火器・消防設備定期点検	7月25日 1月16日	7月25日 1月16日
消防訓練業務	職員及び(株)マイスターエンジニアリング	自主防災訓練 (消火設備及び避難訓練)	7月25日 1月16日	7月25日 1月16日
空調設備点検業務	(株)マイスターエンジニアリング	空調機器清掃・調整・定期点検	7月25日 1月16日	7月25日 1月16日
機械警備業務	国際警備(株)委託	建物出入り口・窓等機械警備	1年契約	1年契約

イ 廃棄物管理実績

期間	廃棄量(Kg)	資源化量(Kg)	資源化率(%)	ゴミ負担経費支払額(円)
18年度	データ無	データ無	データ無	19,475
19年度	282.7	345.7	55.0%	19,034
20年度	195.2	419.3	68.2%	7,268
21年度	181.0	490.1	73.0%	9,792
22年度	231.9	436.7	65.3%	35,566
23年度	271.4	661.4	70.9%	36,062

【別紙 3】

利用状況実績一覧

当期は7月から通年型の能楽入門講座を開始したため施設稼働率が大幅に上昇し、施設稼働率は77.4%を達成しました。(別紙4参照)

ア 貸出施設利用率

区分		施設名		能舞台		茶室	和室	見学者	合計
		日	時間等	日	時間等				
利用可能数				348	1,044	1,044	1,044		3,132
利用数				224	355	70	216		641
利用率				64%	34%	7%	21%		20%
利用団体数				273		44	152		469
利用人数				7,917		309	1,797	8,850	18,873
				時間等	比率	茶室	和室	見学者	合計
利 用 目 的	自主事業	能楽		21	7%	8	20	0	49
		他		8	3%	0	2	0	10
	能・狂言			201	70%	33	128	0	362
	音楽	箏曲		5	2%	2	5	0	12
		横笛		26	9%	4	36	0	66
		囃子		3	1%	0	0	0	3
		三曲		2	1%	0	2	0	4
	演劇	朗読		4	1%	2	3	0	9
		他		0	0%	0	1	0	1
	舞踊	日舞		10	3%	0	6	0	16
	茶道			3	1%	37	6	0	46
	文芸	俳句		0	0%	1	6	0	7
		浪曲		0	0%	0	1	0	1
	会議・研修			2	1%	2	3	0	7
その他			4	1%	3	3	0	10	

イ 利用登録団体概況

平成22年度の新規の利用登録団体は16件でした。

利用分野	新規登録団体数
能・狂言(謡曲・仕舞)	3
茶道	2
俳句	5
その他(舞踊・邦楽・撮影・他)	6
合計	16

【別紙 4】

施設利用実績

ア 利用者数

(単位：人)

年度	能舞台	茶室	和室	見学者	計
18	3,060	230	1,351	5,023	9,664
19	5,699	299	2,298	7,189	15,485
20	6,773	318	2,286	7,262	16,639
21	7,868	393	1,800	7,213	17,274
22	7,179	278	1,872	8,514	17,843
23	7,917	309	1,797	8,850	18,873

イ 利用団体数

(単位：団体)

年度	能舞台	茶室	和室	計
18	96	35	90	221
19	174	69	150	393
20	205	60	144	409
21	197	71	145	413
22	194	62	150	406
23	273	44	152	469

ウ 利用率(利用数/利用可能数)

(単位：%)

年度	能舞台		茶室	和室	計	全体
	日単位	時間帯単位	時間帯単位	時間帯単位	時間帯単位	施設稼働率
18	57	28	11	25	21	-
19	57	29	10	22	20	
20	59	28	9	20	19	71.4
21	56	28	11	22	20	70.0
22	55	27	9	21	19	69.6
23	64	34	7	21	20	77.4

【別紙 5】

アンケート結果

(1) 自主事業参加者アンケート調査結果

開催日	事業名	参加者数	回収率	市民割合	満足度	備考
4/10	講談は面白い	54 人	79.6%	44.2%	97.3%	主催事業
5/8	能の謡を体験しよう	75 人	58.7%	45.5%	100%	主催事業
6/19	能楽入門講座説明会	73 人	-	-	-	主催事業
9/3	所蔵能装束公開展示と能面作品展	85 人	48.8%	35.9%	87.9%	主催事業
10/17・18・19	小学校向け狂言鑑賞教室(※)	1,409 人	-	-	-	主催事業
10/22・23	第 5 回久良岐まつり能舞台行事	225 人	43.1%	86.3%	100%	協働事業
11/27	邦楽花舞台	91 人	59.0%	40.8%	100%	主催事業
3/11	第4回久良岐狂言会	152 人	60.1%	41.3%	100%	主催事業

(注) 表中、市民割合は居住地記載欄から横浜市内の割合を示す。

() 「小学校向け狂言教室」アンケートは各学校の担当教師が回答。

(2) 施設利用者アンケート調査結果

調査期間 平成 23 年 3 月 15 日～3 月 30 日

調査方法 利用団体へ郵送にて依頼 (対象: 66 団体)

回収率 63.6%

結果

(単位: %)

質問項目	回答割合				
	大変良い	良い	普通	悪い	無記入
施設の職員の対応はどうか	76.2	19.0	4.8	0	0
施設の使い勝手はいかがですか	31.0	50.0	2.4	14.3	2.4
利用申請手続きの方法はいかがですか	50.0	23.8	23.8	2.4	0
ご利用回数は何回ですか	初めて 7.1	2 回目 14.3	3 回以上 7.1	10 回以上 71.4	0
(初めての方)また利用しますか	また利用 67	分らない 14	使わない 0	—	0

回答者住所地

横浜市	川崎市	東京都	その他	無記入
72.7	2.3	6.8	13.6	4.5

自由回答欄: 要望課題意見のみ抜粋

- ・鏡の間の道具類が邪魔 (1 件)
- ・舞台が少し狭い (1 件)
- ・廊下奥のトイレ未だ改善されない、段差、冬季寒い (1 件)
- ・稽古利用で半日借りると高いので 1 時間単位で借りたい (1 件)
- ・冷暖房の効き方がその日の天候に合っていない (1 件)
- ・冷蔵庫の利用が特定のグループが占めている (1 件)

【別紙 6】

広報活動実績

施設と事業の周知を図るため、催事チラシや施設パンフレットの配布活動、掲示活動を強化し、多くの市民や伝統芸能愛好者の目に留まるように広報活動を実施。

①当期の自主事業は第2期指定管理期間の初年度として当館で開催される自主事業及び利用者主催事業などの掲載を推進した。(HP アクセス数推移は下記参照)。Web サイトでは施設利用状況の更新作業について毎日更新を実施し、利用サービスの充実を図った。また、Web サイトと連動したブログ「花頭窓」の更新を随時実施し、催事情報の案内やスタッフの活動状況、施設紹介の他、施設や庭園の改修工事、施設維持業務等の掲載記事を充実させ、利用者に安心してご利用頂けるように努めた。

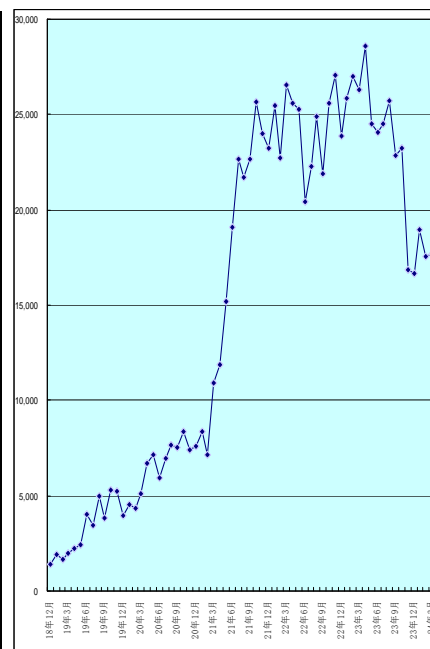
②自主事業チラシについては横浜市内の公共施設及び県内近隣自治体の文化施設や鉄道駅の PR ボックスなどへの配架を実施し、さらに近隣自治会の公共掲示板や自治会掲示板等への掲示箇所の新規開拓を実施し、近隣地域への事業周知を一層推進した。チラシを利用した顧客向けDM発送や、HPに連動したメールマガジンの配信を定期的に行い、情報の周知に繋げた。

③新聞や情報誌においては広域への周知が期待できるため、神奈川新聞、朝日新聞、読売新聞、産経リビング新聞他の一般紙及び能楽タイムズ等の専門紙に掲載を依頼し、実施。市内広報雑誌として、広報よこはま(各区版)への掲載とヨコハマ・アートナビは毎号掲載を依頼し、掲載された。その他、地域の無料配布誌(タウンニュース、情報誌ぱど等)に掲載を依頼し、掲載を実施した。

④施設紹介や催事情報は各メディアに取り上げられ、「久良岐まつり」では地元メディア「J:COM」の番組と連動した生放送で紹介され、広く施設の周知を図るとともに、地域に根差した能楽の専門施設として確立した存在感を持つことへ繋げた。

年度別 HP アクセス数推移

月	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
4月		2,229	6,723	11,855	25,590	28,576
5月		2,412	7,179	15,166	25,282	24,500
6月		4,033	5,951	19,064	20,435	24,060
7月		3,457	6,960	22,635	22,251	24,537
8月		4,981	7,680	21,718	24,915	25,730
9月		3,805	7,513	22,683	21,902	22,823
10月		5,310	8,347	25,650	25,622	23,259
11月		5,238	7,403	24,001	27,057	16,882
12月	1,429	3,978	7,569	23,242	23,870	16,659
1月	1,926	4,531	8,376	25,466	25,880	18,941
2月	1,632	4,356	7,180	22,711	26,992	17,562
3月	1,973	5,093	10,918	26,525	26,298	17,672
年度計	6,960	49,423	91,799	260,716	296,094	261,201
増加率		236.7%	185.7%	284.0%	113.6%	88.2%



Y150のHPとリンクした結果大きく上昇したアクセス数は、23年度当初からその効果を消失はじめていると見られる。